



ちょっと素敵な話
No.12

嬉しかったご家族との会話

働き始めて数年目の年に、利用者さんの日々の様子を写真に撮っていただくという取り組みが始まりました。

素敵な写真が撮れた時は、プリントアウトしてご家族にお渡しするようになっていきました。どのような写真を撮っているのかというと、「作業をされる様子」「外出の様子」「笑顔で過ごされる様子」「行事の様子」「新しいことに取り組まれる様子」……などです。特にこの時に写真を撮るといふ決まりはなく、職員が良いなと思う場面を写真に撮っています。

ご家族に写真をお渡しすると、

「良い表情で嬉しい。」

「本人が本当に取り組んでいるのかと思っていただけ、

頑張ってる取り組みがわかった。」

などの言葉を翌日の連絡帳にていただきました。

その言葉が私自身とても嬉しく感じました。

家庭訪問をする機会があり、ご自宅に伺うと、今までにお渡しした写真を部屋に飾っているお宅がたくさんありました。

「普段写真を撮る機会が少ないから嬉しい。」

「良い表情で撮ることが本当に難しいから嬉しい。」

「宝物です。」

と、おっしゃってくださいるご家族がたくさんいらっしゃいました。また、部屋に写真を飾っている様子を写真に撮って、事業所に喜びのメールをしてくださいるご家族もいらっしやいました。

お渡しした写真が大切に飾られていること、そんなご家庭が何軒もあるということが予想外で驚きましたが、大切に飾ってくださいることで、私たちの予想以上に喜んでいただいていることを知り、とても嬉しくなりました。

これも素敵な支援の一つだなと感じました。

利用者さんの素敵な写真が撮れた時や、素敵な写真を見せてもらった時に、私はとても嬉しく幸せな気持ちになります。素敵な写真が撮れた時は、職員間で見せ合ったりします。

その写真を見て職員も必ず笑顔になります。このように良い写真を職員やご家族と共有できる瞬間が、日々の小さな幸せや喜びだなと思っています。

